

ゆたかな緑を未来に遺す

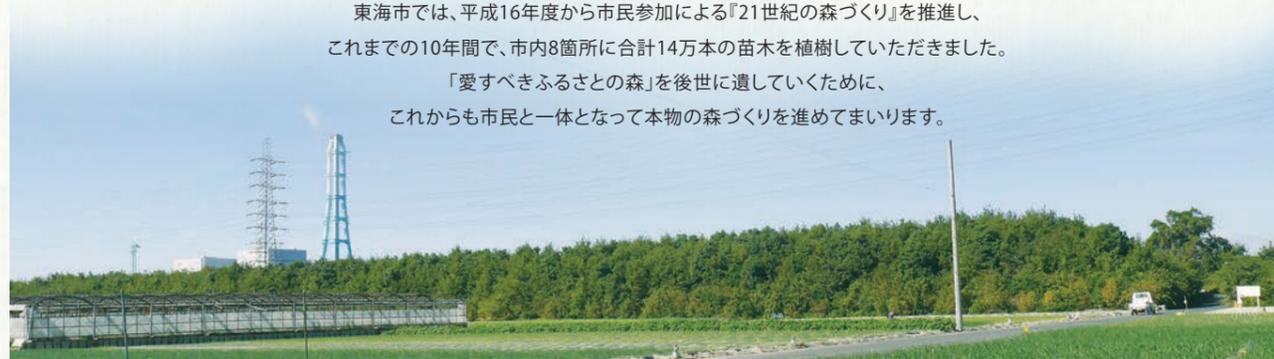
都市の環境づくりに欠かせない緑は、市民の生活にとってとても大切な存在です。

市内に残っているまとまりのある緑を可能な限り保全し、21世紀の森づくり事業などによって新たな緑を創出し、ゆたかな緑を未来に遺していきます。

21世紀の森づくり事業



東海市では、平成16年度から市民参加による『21世紀の森づくり』を推進し、これまでの10年間で、市内8箇所に合計14万本の苗木を植樹していただきました。
「愛すべきふるさとの森」を後世に遺していくために、これからも市民と一体となって本物の森づくりを進めてまいります。



養父新田緑地

21世紀の森づくりとは？

「21世紀の森づくり」とは、子供から大人まで市民の手作りによる植栽を基本に、「ふるさとの森」をつくり、広げて、次世代に引き継いで行くことを目的とした事業です。宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと、「宮脇方式」の手法を用いた植樹祭を行い、皆さんの手でたくさんの苗木を植えていただきました。

また、植樹祭の翌年度には、育樹祭を開催し、木々の成長を見守りながら除草や清掃を行っていただきました。この木はいつか、自然災害から私たちを守り、さまざまな生物のいのちを育む「本物の森」に成長することでしょう。

「宮脇方式」…土地に合った樹木を中心に多数の樹種を混植・密植し、本来の生態バランスの森を創生する手法



◎宮脇 昭プロフィール
1928年岡山生まれ。理学博士 広島文理科大学生物学科卒 ドイツ国立植生園研究所研究員となる。横浜国立大学教授、国際生態学会会長などを経て、現在、横浜国立大学名誉教授。財団法人地球環境戦略研究機関国際生態学センター長 紫綬褒章、勳二等瑞宝章、ブループラネット賞（地球環境国際賞）などを受賞。



植樹祭



育樹祭

貴重な緑の保全と

新たな緑の創出

III



みんなの想いが込められた
木々の成長アルバム

平成16年度



第1回

平洲小学校

◎平成16年5月26日
◎参加者：児童、保護者等 計500人
◎平洲小学校校庭西側の法面(300㎡)に850本(70種類)を植栽



第2回

浅山新田緑地

◎平成16年11月21日
◎参加者：一般市民、企業関係者、近隣小中学校児童・生徒等 計840人
◎浅山新田緑地(面積8,400㎡)に17,500本(24種類)を植栽



第3回

元浜公園西地区

◎平成17年2月20日
◎参加者：一般市民、企業関係者、近隣小中学校児童・生徒等 計950人
◎元浜公園西地区(面積2,500㎡)に7,500本(60種類)を植栽

平成17年度



第4回

船島小学校

◎平成17年11月16日
◎参加者：全校児童、来賓等 計375人
◎船島小学校校庭南側の法面(250㎡)に750本(70種類)を植栽

平成18年度



第5回

東海町地区

- ◎平成18年11月3日
- ◎参加者：一般市民、企業関係者、東海市みどりの少年団等 計350人
- ◎中新田緑地(面積2,140㎡)に 7,250本(57種類)を植栽

平成20年度



第6回

養父新田緑地

- ◎平成21年2月28日
- ◎参加者：一般市民、企業関係者、東海市みどりの少年団、市内小中学校児童・生徒等 計3,500人
- ◎養父新田緑地(面積19,300㎡)に 70,000本(57種類)を植栽

平成21年度



第7回

南柴田緑地

- ◎平成22年2月27日
- ◎参加者：一般市民、企業関係者、東海市みどりの少年団、市内小中学校児童・生徒等 計1,100人
- ◎南柴田緑地(面積6,500㎡)に 20,500本(57種類)を植栽

平成25年度



第8回

加木屋緑地

- ◎平成26年2月9日
- ◎参加者：一般市民、企業関係者、東海市みどりの少年団等 計800人
- ◎加木屋緑地(面積5,000㎡)に 15,000本(57種類)を植栽

みどりの少年団

東海市みどりの少年団は、子どもたちが緑に接し、親しむことによる緑化意識の高揚を目指して、昭和51年に設立されました。少年団は、正しい緑の知識を身につけ、校内の緑化や植樹祭、オリエンテーリングなどの緑の保全活動を行なっています。



植樹祭

市民参加を図りながら市内の公園にサクラやアジサイ等を植樹しています。



建築物等緑化補助制度

民有地で新たに屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化、生垣設置を行う工事に補助金を交付することにより、緑化の推進及び良好な住環境づくりの促進を図っています。

緑地・街路樹の整備

市内に緑を創出するため、緑地を整備するとともに、幹線道路には美しい緑の潤いを与える街路樹を積極的に設置しています。

保育園園庭の芝生化

子どもたちが怪我を気にせず、素足で元気に走り回れるよう、市内に18箇所ある保育園全園の園庭を芝生化しました。芝生化にあたっては、田植えのように苗を植える「鳥取方式」を採用し、園児や父兄などが参加して天然芝生のポット苗を植え、緑の絨毯が敷かれた園庭では園児たちの歓声が響いています。



保全地区及び保存樹木

良好な自然環境の保護及び美観風致を維持するため、土地所有者の承諾を得て協定書を締結し、保全地区及び保存樹木を指定するとともに、保全に係わる費用の一部を補助しています。



森林病虫害防除

市内の貴重な松やナラ類を病虫害から守るために、被害木の駆除や薬剤の樹幹注入を行ない、被害のまん延防止に努めています。

里山機能を持つ緑地 加木屋緑地

東海市加木屋町にある御雑子山は、海拔59.2mと市内で最も標高が高く、眺望に優れています。また、その周辺には、まとまりのある自然林が残っており、昔ながらの里山的な風景が広がっています。このような貴重な場所を将来まで残していくため、「自然環境再生拠点」として、貴重な緑を保全し、新たな緑を創出することで市民が身近に自然とふれあうことができる緑地を整備しました。緑地は4つのゾーンに分かれており、それぞれの特徴を楽しみながら散策ができます。



水辺の森ゾーン



水辺の森ゾーン
図賀奈池周辺には、多くの野鳥や昆虫が訪れ、小動物たちにエサ場、隠れ家、産卵場などの大切な環境を提供しています。池の周りのウッドデッキを歩いていると、カワセミに出会えるかもしれません。



散策の森ゾーン
加木屋緑地のシンボル御雑子山の東斜面を散策することができます。晴れていれば頂上付近から、北北東の方向に御嶽山が見えます。

散策の森ゾーン



みはらしの森ゾーン
市民参加による植樹祭で、15,000本の苗木と、ヤマザクラ、シダレザクラを植樹しました。あずまやまで景色を見ながら休憩してみたいはいかがでしょうか。



みはらしの森ゾーン

「ウスミザクラ」
岐阜県本巣市の樹齢1500年以上とされる「根尾谷淡墨桜」の子孫木を植樹しました。散策の森ゾーン、みはらしの森ゾーン、成長の森ゾーンに植えられているので、探してみてください。



成長の森ゾーン

成長の森ゾーンは、もともと竹林や田畑だったところをドングリのなる木を中心に高木を植え、里山の自然を保全しながら郷土の森を育てています。20年、30年先を見据えた森づくりを考え、郷土の自然を未来につなげていきます。



成長の森ゾーン

クロスカントリーコース

緑の中を、景色を楽しみながら健康づくりやトレーニングを行うことができるコースです。起伏に富むこのコースはウッドチップ敷きで、脚への衝撃が少なくなっています。1周2.5kmで周回コースもあり、体力に合わせて無理なく運動できます。



- 水辺の森コース (2.5kmコースの起点・終点)**
水辺の森ゾーンにある芝生広場がクロスカントリーコースのスタート地点です。さわやかな木陰を走るコースです。
- 散策の森 周回コース (1周400m) ※右回りの一方通行です。**
御雑子山からの景色を楽しみながら歩くことができます。また、晴れた日には御嶽山まで見渡せます。
- みはらしの森 周回コース (1周500m) ※左回りの一方通行です。**
全長100m、標高差15mの坂道を活用したダッシュや、周回コースを活用したインターバルトレーニングに最適です。
- 成長の森 周回コース (1周400m) ※左回りの一方通行です。**
春には桜が咲き誇る里山の風景を楽しみながら歩くことができます。



アクセス
◎名鉄電車「南加木屋駅」下車、西へ15分
◎らんらんバス「西知多総合病院」下車
南東に徒歩5分
◎20台